

2次避難所

湯原コミュニティーセンターに現地対策本部を設置し、避難してきた干蒲地区の方々と災害発生時の訓練を行いました。

今年度初めて、消防団を中心とした土のうの作り方と積み方の訓練をしました。これは、昨年9月に発生した関東・東北豪雨災害を教訓に行われ、河川の決壊を防ぐため漏水した箇所の水抜き時に使われるもので「釜段」と呼ばれ、もしもに備えた役立つ訓練となりました。

次に、煙中通過訓練と初期消火訓練を行い、災害時に火事が発生した場合の避難方法と消火器の正しい使い方を教わりました。

その後、応急手当訓練を行い、AEDの使い方と心臓マッサージのやり方、簡易担架の作り方についても学び、みなさん真剣な表情で話を聞いていました。

最後に、保育所の幼年消防クラブによる火の用心の歌と、防火の誓いが披露されると、会場からは大きな拍手が送られました。また、婦人防火クラブと日赤奉仕団のみなさんによる炊き出し訓練も行われ、訓練に参加したみなさんに配られました。



6月10日の「宮城県民総合防災の日」に、七ヶ宿町総合防災訓練が行われました。午前8時30分のサイレンと同時に宮城県沖を震源とするマグニチュード9・0の地震が発生し、七ヶ宿町でも震度6の地震を観測した想定で行われました。今回の訓練は、干蒲・湯原地区を対象に、震度5強の余震と土砂災害特別警戒情報発令による2次避難訓練も行い、約100人が参加する大規模な訓練となりました。

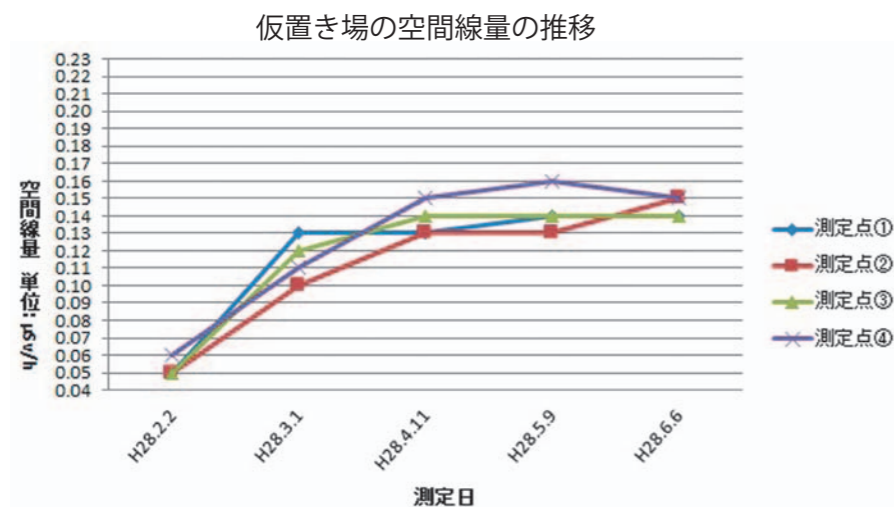
七ヶ宿町放射性物質除去土壌仮置き場の放射能測定について

柏木山放牧場に隣接する仮置き場の測定結果をお知らせします。

平成28年6月6日に柏木山放牧場の空間放射線量及び地下水放射性物質量を測定した結果、以下のとおりとなりました。

平成25年5月から空間線量を測定していますが、追加被ばく量が年間1 mSvを超えないように管理され仮置き場が安全に保たれていることを表しています。

※仮置き場内の4点を定点とし測定しています。



○地下水の測定結果

単位：Bq/kg

| 調査項目 | 測定値 |
|------------------|-----|
| 放射性ヨウ素 (I-131) | 不検出 |
| 放射性セシウム (Cs-134) | 不検出 |
| 放射性セシウム (Cs-137) | 不検出 |

測定開始時から不検出となっています。

干蒲地区

住民と役場職員による避難所開設訓練を行い、避難者名簿を作成し、避難者情報の把握に努めました。また、その情報をもとに役場職員が避難していない高齢者世帯と要支援者の世帯を訪問し、安否確認を行いました。その後、土砂災害特別警戒情報による2次避難指示が発令されると、避難救護車に乗り込み、指定場所である湯原コミュニティーセンターへ2次避難しました。



湯原地区

湯原地区でも、避難所開設訓練を行ったあと、避難者名簿を作成し、避難者情報の把握に努めました。また、独自に計画を立て、要支援者を車椅子で救助に向かう訓練も行いました。停電を想定した発電機の作動訓練も行って、正常に作動することを確認しました。



●お問い合わせ 総務課 ☎ 37-2111 (担当：東根)